

火打山

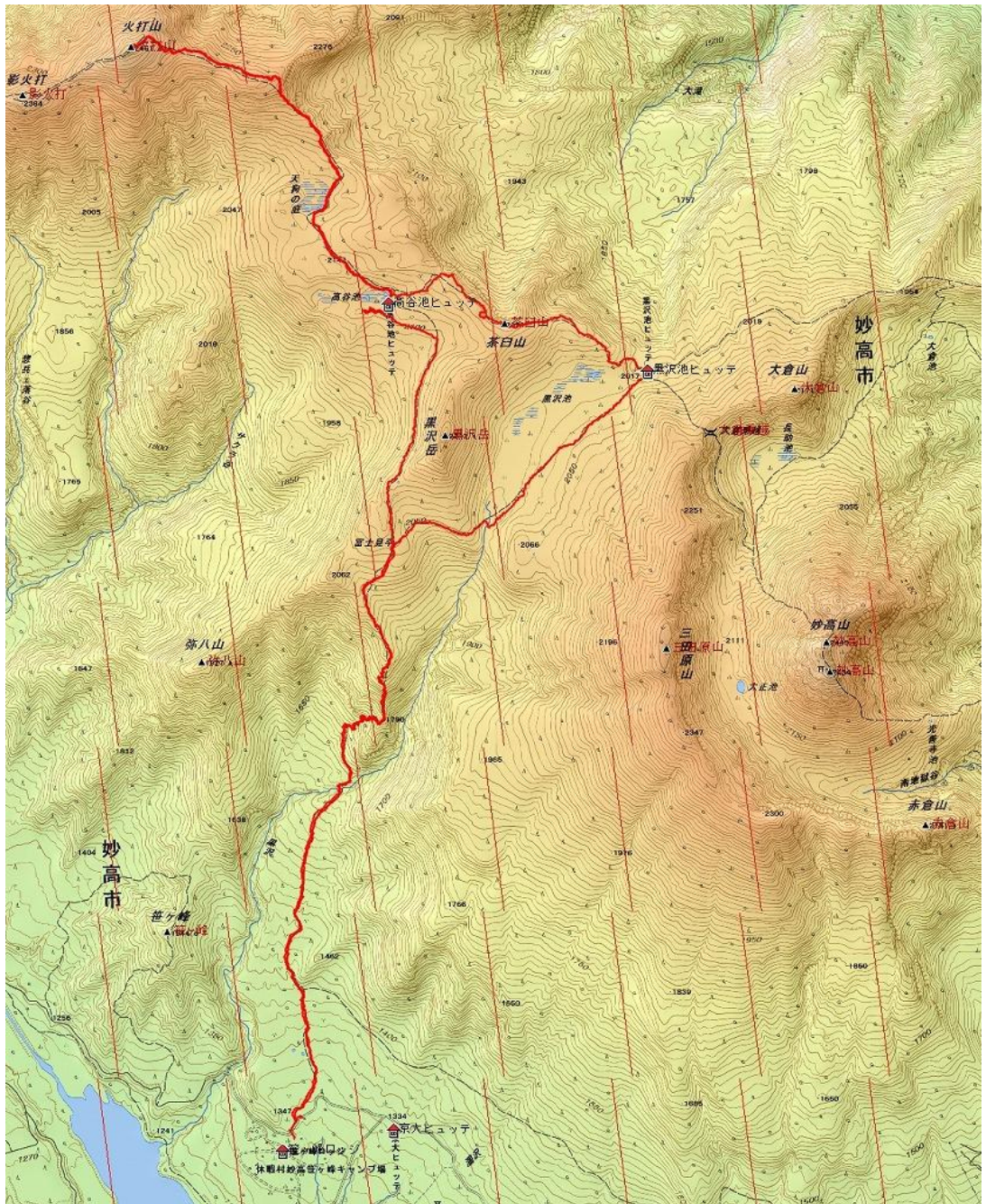
【日程】2015年10月3日～2015年10月4日

【エリア】頸城山塊

【形態】ハイキング

【メンバー】T岡、M尾、M本、O田

【報告】M尾



《ルート／タイム》

10月3日(土) 晴れ

前夜奈良出発～07:20 妙高高原駅～08:10 笹ヶ峰バス停～11:00 富士見平
～13:15 高谷池幕営地・出～15:00 火打山～16:05 高谷池幕営地

10月4日(日) 曇り

06:45 幕営地～07:40 黒沢池ヒュッテ～09:00 富士見平～11:00 笹ヶ峰
11:30 笹ヶ峰バス停～12:20 妙高高原駅

《報告》

10月3日

8:10 出発

ブナ、ミズナラ、ツガなどが茂る登山道でブナハリタケ、ムキタケ、クリタケが見つかりました。十二曲がりの急登にさしかかると、きのこどころではありませんでしたが、このあたりから、ブナの黄色、カエデの赤と紅葉が鮮やかになってきて疲れも忘れさせてくれました。

12:00 高谷池のテント場着

すでにテント場は色とりどりのテントで埋め尽くされていましたが、ラッキーなことに小屋の人が隠しテント場に案内してくれて、快適な場所にテントを張ることができました。

13:15 火打山(2446m) 山頂へ向けてザックを置いて身も心も軽く出発。稜線から見下ろすと、高谷池、天狗の庭の紅葉が空の青さをうつした池に映えて、思わずみとれてしまいました。頂上直下の稜線で、長野在住のT田さんと出会いました。日曜日が出勤なので、きのこ鍋は一緒できないけどみなさんに会えてよかったと再会を喜びました。

15:00 火打山頂上

360度の展望で 火打からの縦走路に続く焼山は噴煙を盛んに上げておりその向こうには後立山連峰、遙かかなたには槍ヶ岳、手前に黒姫、高妻、戸隠、がそびえ 富士山がかなり大きく見えました。

16:05 テント場到着

幕営の達人・T岡さんの指揮のもとてきぱきと鍋の用意、
香りのよいブナハリタケのきのこ鍋を美味しくいただき、お餅でしめました。
残りの汁は、朝食の雑炊にしました。鍋の後片付けをして外に出ると、ネパールで見たような きらめく満天の星！O田さんが冷たい風の吹く中、がんばって素敵な写真を撮ってくれました。

10月4日

朝食後、テント撤収。明け方に雨が降り心配したが、間もなく青空がのぞき一安心。
M本さんがスマホで天気予報を調べてくれて、雨の心配なしとのことでした。

6:45 高谷池出発。

7:40 黒沢池ヒュッテ着。

黒沢池に近づくとつれて黒い雲が垂れこめて、ついにポツリポツリと雨が降り始める。
ヒュッテのオーナー？に 天気予報どうなっていますか、と聞いたら、一言「あめ！」
4人で話し合っ 妙高は岩場が多く、雨天時は危険なので、笹ヶ峰に降りることに決定。
流れる霧の中のにじむような紅葉に見とれながら笹ヶ峰登山口に下山。

明星荘の美味しい「きのこ&山菜そば」を食べて 11:30 のバスで妙高高原駅へ、車を回収して
野天温泉に入り、一路奈良へ。

雪にすっぽり覆われた火打山、残雪の火打山、高山植物咲き乱れる夏の火打山、そして今回の紅葉に
彩られた火打山、四季折々の魅力あふれる名山です。楽しい山行でした。



高谷池遊歩道から火打山を望む(10/3)



秋色に染まる高谷池ヒュッテと湿原(10/3)



高谷池ヒュッテで迎える幕営の明り。天ノ川が上空を覆っていた。(10/3)



秋の小庭園の空間が黒沢池ヒュッテ前に広がっていた(10/4)



ガスと共に幻想の風景に包まれる黒沢池(10/4)



ダケカンバが周縁の紅葉を際立たせていた(10/4)



四季折々の風景を見せる火打山。CNNは Japan's 31 most beautiful places、世界が認めた日本の「美しさ」を感じることが出来る名所の一つに火打山を選んでいる (10/3)